

同業出金		同業出金	
昭和十八年十二月末	昭和十九年三月末	昭和十九年六月末	昭和十九年九月末
三九七三〇六一	三八八五〇五三	五〇八九二四九	七九〇九〇二五
九二〇〇〇〇	六二二〇一〇八	二、三三八、五二一	五〇一七九一六
六三三、三九〇	三二二、二八三八	二〇、〇六九、九四四	一、四、五、一〇一
三、九七三、〇六六	二、一五九、四四二	三、二四九、九一一	八、三、三、四二二
一〇、一、一五八	一〇、三、一六九	二、二五五、三三八	四、八、七、二九六
三、二八五	一、三、九五七	一、五〇、一三	二、二、八、九一
二、三八、四九	三、三、二、〇六八	五、六、五、四六二	一、三、三、三、六一〇

  

同業出金		同業出金	
昭和十八年十二月末	昭和十九年三月末	昭和十九年六月末	昭和十九年九月末
八三二五九	一三〇、五二五	一二六〇三五	一、二、五、六、八六
一〇、五、三、七	一、四、五、四、四八	一、七、九、一、七四	一、四、九、一、三〇
二、五、六、四、六六	一〇、八、八、二〇九	一、七、〇、六、三、九五	二、〇、四、九、九、〇〇
四、九、七、六八	一、八、八、七、二〇	二、四、六、六、九七	三、五、一、六、一八
一、四、九、九、六三〇	一、五、五、二、九〇二	二、二、五、八、三〇一	五、四、六、五
五、三、六、四八	六、四、八、七二	九、三、一、六一	一、一、七、五、六六
五、二、二、五一	三、一、九、九六	八、七、六、一一	一〇、六、六、八二
九、二、一、八三	一、二、三、二、四八	一、八、六、一、二八	二、三、五、一、三九
五、三、三、九	三、五、三、九二	四、三、五、七九	二、八〇、一、四〇
二〇、三、三、六一	二、五、五、五〇八	四、一〇、七、七九	二、七、五、四
一〇、八、四、五〇〇	一、二、四、四、二一一	一、五、五、一、九、四、五	二、五、二、五、九、五〇
一、六、二、三、三	六、三、三、六、六	一、五、八、八、二、二九	一、二、五、一、一、五七

16

十三、上海本邦系八銀行ニ對スル爲替許可額額  
 (自昭和十九年一月至今年十一月分)

(一) 輸出爲替關係

(單位千圓)

支那	一九〇六三一
北支	六八九七〇
北支	一〇七二〇
支那	四九八三
支那	七七一五
支那	四九七
支那	二八三五一六
支那	一七二八二九二
支那	一〇六六五
支那	二六九五
支那	三九四〇五
支那	一七八一〇五七

(二) 對支

(單位千圓)

(一) 對支

(單位千圓)

支那	三九四五〇
支那	二八七九五二
支那	五九七〇八
支那	一一一〇一
支那	六六二
支那	三九七八
支那	四〇三八六二
支那	三五四〇四七八
支那	二〇〇五二八
支那	二一八九三
支那	九二三二一八
支那	三六八五四一七

三、特金爲替關係

(單位千圓)

本邦	向	二〇九二
支那	向	一二九八
香港	向	六二四
上海	向	三八二六
汕頭	向	一七一八
廈門	向	六八一
廣州	向	六三三
計		四三三九五
北支	向	三三五八
支那	向	二〇三一
廣東	向	二五〇四
計		五五七九
廣東	向	一一九八

四、特金爲替關係

(單位千圓)

支那	向	二〇三
香港	向	八〇一
上海	向	二七四三
汕頭	向	八一
廈門	向	一一七三
廣州	向	一一二
計		六八七三
北支	向	五九九
支那	向	一一〇九
廣東	向	二六九八
計		五二七九三

18





(回) 編纂取引実績 (昭和十九年一月—六月) 単位千円

区分	1 交易関係		2 交易外関係		合計		台	計	台	計	台	計	台	計	台	計
	(A) 無償貸入金	(B) 有償貸入金	(A) 貸付	(B) 受取	(A) 貸付	(B) 受取										
日本	1,000	1,000	1,000	1,000	2,000	2,000	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
北支	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
支南	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
その他	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
計	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

(回)

十四 日本国送金許可額細計（銀行別）  
（単位：千）

銀行別	昭和九年四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月
正金銀行	三三六八二九	四〇八九五八	四九六九五	五七七一六	六五〇三三	七二五三三	八〇七四八	八八八二五
華商	五八八一	六五一	一八八五	六六二五	一九八二九	二〇五〇九	二七五八六	三九八八六
住友	一一三五三	一〇五九	九七一五	九〇三三	三三六九三	三八〇一五	四三三三一	五〇〇一一
臺灣	五四九五	六五一	一七五二	八六六八	三三六九一	一八二九三	三六八二	七二〇〇
三菱	三六五七	三六一	二〇九三	四〇三	三九〇三	一九八三九	三三三九	三六三
朝鮮	二七九七	二六一	一〇二六〇	八二五	二四九七	二八八六一	三二五三	三七一
漢口	八九九六	六〇三	二四一六	五三九六	一八七九〇	一一八〇〇	三三三三	三三〇
上海	九〇一三	二七〇〇	一四三六	一〇二五〇	三二一七一	四二二四	五〇〇一	五二二
華興	二〇九	三三六	一三三	三〇九	三〇〇	四〇〇〇	一六〇三	一四〇〇
計	八六九二〇	八三六二六	一三三三九	一〇九四三	一八九二五	二九六三九	四三六九〇	五二二二

支中支ニ於ケル各種調整料積立金現在高  
 (A) 自昭和十九年三月  
 至昭和十九年十二月  
 (B) 調整料寄附額三〇八八九三九元五三二  
 (C) 昭和十九年十二月B調整料現在高  
 一九七八三三〇元九七一  
 (D) 調整料ハ現在正金銀行上海支店ニ保管シアルモ今年中ニハ寄  
 附手續完了ノ見込  
 去民國三十三年上海海關稅收入真續表

月別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
輸入稅	一、二四六三、五五一、九一〇	二、四三一三、六八〇、四〇〇	四、四三三、八八二、六四七	二、四四二、四〇〇、二、四四六	四、〇七四、五五五、三三三	六、二二五、五五五、二、六六七	五、四〇〇、二、五五五、〇、三七	五、五二二、三、二、二、七、四〇	四、五七一、七、一、一、六、九、八	八、八二八、七、四、八、八、四、六			
輸出稅	一、五六七、五〇六、八〇〇	一、九〇二、二六〇、六二二	二、三一五、九九〇、九九九	三、〇一五、〇五〇、一、五〇〇	四、九六一、九五五、〇〇七	四、九三三、〇六一、二、八六	三、三一六、四〇〇、三、三八	一、一四四、二、七、六、〇、五	七、四九二、九七五、三三七	二、八四八、二、二、九、七、五			
轉口稅	六〇、四六一、一九四、二八	五九、九七一、五一、七七〇	八五、〇一七、七五〇、二六	七五、九三三、〇六八、一一	九八、一五四、四九七、七〇	一〇、五七〇、六四二、一、五六	一一、七八二、一、五、五、四、一、九	一一、五五六、七、六、九、五、一、三	一、六六五、九二、五、七、〇、八、三	二、一九一、二、三、七、六、一、〇、八			
總計	三、〇六六、一、一、九、四、二、八	三、六九三、八、八〇	三、三九〇、六、六〇	三、三二六、〇、四〇〇	五、一、八、二、八、二、〇	五、四九二、五、二、〇	一、九、四、七、一、六、〇	一、二、四、八、二、四、二、八	二、九、七、〇、七、二、〇	二、三、六、四、九、六、〇			
附加稅	六二、八三九、四一、二	八二、五六一、六〇、四	二二、二五二、一、二、三	五、一、五、二、六、六、〇	三、五、三、四、六、二、九	一〇、三、九、二、二、八	四、四、八、〇、八、九	一〇、六、八、一、〇、八	一、五、三、九、六、四	七、六、五、七、〇			
合計	七、五七六、九、九、五、〇、三	八、七八七、四、六、二、九、六、〇	一、三、二、一、五、〇、五、一、六、七、八	一、〇、〇、三、一、八、五、五、六、七	一、四、三、九、八、一、六、〇、八、九、二	一、七、四、九、六、八、二、六、九、八、五	一、七、四、一、六、〇、九、六、〇、三、二	一、八、三、一、二、二、五、九、五、四	二、一、九、八、三、五、八、〇、九、六、五	二、一、〇、二、八、四、六、六、〇、二、九			

吉 積害保險會社收支調 (自昭和十九年一月) 單位元  
至昭和十九年六月)

保費金額	日九八六二廿二五八四八三五	五九八五九三三三九一一	二〇四九九九〇六二、五〇	一六七五、三二五六、七四
收入保費科	三六二五八〇五九四四六	一四六六、六五一、五七九	一一七、二三三、八二八	四二四〇五三九、六〇
支拂保費金	八八五三五六六二七	九七三〇、九五五、五五	七七八七、一五九七、五五	一、二八三、五五三、三二
手取料	三四八五九〇九五〇	二四〇三、七五八、六九	一〇〇五七、三三〇	八四九、二〇、一七
事務所費	二九八七四四二〇二	一七〇八、九六三、四一	一一八一、四七三、七六	八八四〇七、七、八六

本 年 命 被 兵 保 費 月 別 支 調

一月	一、八九七、八〇八、二四	一、七、一八、六三、一六	三〇八、四四、六二	三、九二四、八八、〇一
二月	三、一六、八一三、八〇	二、八七、九六四、八〇	三五八、一三三、一一	六、三九三、九〇、七一
三月	六、七六、九九七、三三	三、九九六、四四六、九二	七、三、五五八、〇〇	一、四七五、〇二、二五

第一回保費科	四、七九、八四九、七六	三、三三三、六三、一一	七五七、三九三、四四	八、八八〇、八八、三二
繼續保費科	四、九七、四七六、二五	二、〇七三、八八三、三八	八六三、五三七、四五	七、九二二、八九六、〇八
其ノ他	九、五二、九九七、〇九	二、八五三、四三、五〇	五二九、八五〇、二九	一、二、八九四、二七、八八
計	一、〇、二八四、〇七〇、二七	二、三三三、四〇九、六〇	一、四七九、二四、九九	一、二、八一三、四七九、五三
支拂保費金	一、〇、二八四、〇七〇、二七	二、三三三、四〇九、六〇	一、四七九、二四、九九	一、四、三九〇、七一、五六
事務所費	一、〇、二八四、〇七〇、二七	二、三三三、四〇九、六〇	一、四七九、二四、九九	一、八、八六八、二〇三、五七
手取料	一、〇、二八四、〇七〇、二七	二、三三三、四〇九、六〇	一、四七九、二四、九九	六、三、七九九、〇五三、五一
事務所費	一、〇、二八四、〇七〇、二七	二、三三三、四〇九、六〇	一、四七九、二四、九九	一、六、三五一、二九〇、四三
計	一、〇、二八四、〇七〇、二七	二、三三三、四〇九、六〇	一、四七九、二四、九九	六、一、五七三、〇二、四九



三三三、九七九	九〇、六八七、三三三	一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇	五九四、一三、〇九	二七二九、一三〇、三二
四四八、六七〇	八、三一、四八、八〇	八、〇六〇、〇〇〇、〇〇〇	一、一五二、九〇、九八	〇、〇六九、九一六、八二
三〇、四〇七、〇九	九二六、四三二、〇七	一〇、五五〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇八、八三八、〇〇	二、五三三、六六六、一六
六七〇、八三、九七	一、三三八、二二、一六	二〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、五、六三六、六一三、五八一	七、二二一、八一八、七三
五九九、二一三、八六	七、七〇八、三八三、二五	六〇、四三〇、〇〇〇、〇〇〇	二〇、八〇八、四〇六、八四八	九、五四六、〇〇三、九五

3

REEL No. A-0552



アジア歴史資料センター

第三項 重要事項ニ關スル將來ノ方針及新方策要領

一 儲備券ノ今後ニ於ケル増發豫想ト之カ價值維持策

(一) 儲備券ノ發行高ハ本年十一月末現在ニ於テ一〇七、一七二百万元ニ達シ昨正十一月ニ比シ九一、八五四百萬元ノ増加トナリ居レルガ之カ増發ノ主因ハ預ケ合ヲ滿スル我方國庫金ノ撤布ニ依ルキノナルヲ以テ資金放出ノ規正ニハ自ラ限度アリト云ハサルヘカラス

(二) 今後ニ於ケル増發見込高ヲ推算スルニ基本的ニ於テ作戦ハ今後益々進展スヘキ且日本對南方資源帶トノ航運遮斷ニ依リ現地自活ノ態勢下軍需資源ノ中支地區ニ對スル期待高ハ益々増大スヘキヲ以テ國庫金ノ支辨並ニ預ケ合ニ依ル軍需ノ支出ハ相當激増ヲ見ルヘク豫想ハ一〇、一一七(昭和十一年基準)ニシテ本年十月ノ指數ハ一一〇、一一七(昭和十一年基準)ニシテ昨年全期ノ一二九、八二二比シ約九倍ノ騰勢ニ在リ右ハ通貨ノ膨張及其ノ他ノ諸要素カ互ニ因トナリ果トナリテ惡循環ニ陥リタル結果ニシテ此ノ傾向ハ今後益々甚タシカルヘク恐ラク從來以上ノ足取ヲ進ルモノト豫想ハレ彼此勘案ハ明年三月迄

ニ於ケル發行増加ヲ左表ノ如ク推定シ大體ナカルヘシ  
十二月以降發行増加高豫想

月	日本發行 豫高豫想	月中 發行増加高	前年 全額 月中増加高
十二月	一三八八八〇〇	三、一六七七	三、八三二
十一月	一六三三八〇〇	二、五〇〇〇	二、八〇三
二月	一八三三八〇〇	二、〇〇〇〇	二、七三三
三月	二〇八八八〇〇	二、五〇〇〇	二、三三四

(三) 右ノ如ク儲備券ノ増發度ハ益々加速度化ヲ豫想ハラルヲ以テ之カ儲備券價值維持ノ根本的解決ハ中支經濟ノ復興ニ在ルヘキカ如爲中支生産増進ニ付テハ關係方面ト協同遂次施策中ナルカ當リノ對策トシテハ儲備券ノ放出抑制、回收ノ促進ヲ圖ルノ要切ナルヲ以テ我方ニ於テハ國民政府並ニ中央儲備銀行ト緊密ニ協力連絡シ

(1) 放出ニ付テハ(1)儲蓄銀行及日本側中儲蓄銀行ノ貸出額ヲ調リ  
 代スルト共ニ口消費規正ノ徹底ヲ計リ(2)更ニ重額トテ遠路ノ  
 上放出ノ主要素タル買辦渡金制度ノ調整方ニ付研計中ナリ  
 (2) 國收ニ付テモ(1)賣上納糸布ノ市價却ロ金及金銀貨ノ市價  
 却ロ中買辦、券券油紙會手續品ノ市價却ロ中央幣管理廳利  
 實券ノ増額發行等ニ依リ之カ促進ヲ計ルト共ニ(2)更ニ内地幣  
 制爲奢侈品ノ現地賣却ハ國民政府管理廳不滿意ノ市價却  
 (3) 中國側貯蓄動員ノ徹底(4)糧食配給代金ノ現迅ニ於ル同收等  
 (5) 戰時幣制整理研究會ノ增設ハ(1)物價並ニ勞賃ノ騰貴口戰時生産  
 ノ時期的、量的調整ニ基キ或程度必然的現象ト稱シ得ヘキ兵  
 站迄地下シテノ中支經濟ノ圓滑ナル進行ヲ期スル爲ニ八月五日  
 力之カ抑制ヲ計ルノ要アルヲ以テ我方ニ於テハ物價管理會三  
 方面ヨリニ本根本的綜合對策ノ確立實施方ニ付關係方面ト打合  
 中ナリ

一 幣制資金ノ中央儲蓄銀行集中ニ關スル事  
 中國ノ參戰大東亞戰ノ決戰現勢變遷ニ朝慮シ中露支經濟ヲシテ急  
 進ニ大東亞綜合戰力ノ形成分子トシテ組織化ニ力ヲ盡スル所之カ  
 爲ニハ中央銀行タル儲蓄銀行ヲシテ日本圓ヲ中心トスル大東亞  
 幣制決濟機構ニ參考ヲシムルヲ要シ、從面中露支ノ對外幣制ハ  
 特別圓爲幣ニ決定シ之ヲ以テ幣制銀行ニ集中スルヲ適宜ト認メ  
 ラル  
 外國爲幣資金ノ全面的完全ナル集中ハ本格的幣制管理ノ實施ヲ  
 前提トスルヲ要スル所然ル本格的幣制管理ヨリ直ニ實施スルハ諸  
 般ノ情勢ニ付時勢尙早ナルヲ以テ本報側ノ協力ニ依リ先ツ對  
 南方爲幣ニ付之カ資金ノ集中ヲナシ(今年一月九日以幣制實施)  
 以テ對南銀行ヲ強化シ漸次對日以外ノ外國爲幣資金ニ海集中  
 國ヲ擴大スル方針ノ下ニ諸般準備ヲ進メ言レリ  
 尙對南方爲幣中央儲蓄銀行集中ヲ總會ニ從來ノ換價レイト更ニ  
 圓買十八圓ヲ賣買共十八圓一本ニ改メタリ  
 更ニ對北支爲幣ニ付テハ從來對南爲幣、對南爲幣、津浦爲幣、三  
 者ナリ、斯種儲蓄銀行育成強化策ノ一トシテ對北支力支那ノ一部

オムコト及中北支爲發決濟總體ノ請明化ヲ計リ物資交流ヲ國  
化シ以テ中北支經濟ノ一體化促進ヲ計ル目的ノ下ニ本年四月  
陸軍省爲第一本トシ現在ニ及ヘリ

二 漢口保險事業

(一) 漢口保險事業  
料率問題、經營合體化問題、新進人物進出問題等ノ諸問題  
ノ根本的解決ヲ圖ル爲取次ニ且ル官民合同經營會議體ノ結集  
左記要領ニ依ル共同事業所設置ニ現地ノ意見一致ヲ得之方  
實現ノ爲東京關係方面ト交渉中ナリ

記

(1) 昭和十九年度ニ於テ上海並ニ中支ニ營業所ヲ有スル本邦  
壽保險會社ヲシテ聯合會ヲ東京ニ組織セシメ之ヲ聯合共同  
事業所ヲ上海ニ設置シ之ヲシテ各社ヲ代表シ漢口保險ノ並  
而引受ニ當ラシムル  
(2) 現在ノ各社ノ支店、出張所ハ營業所聯合會事務所ニ繼承ノ  
上請領撤退スルモノトシ、各社ノ職員ハ引續キ業務所ニ勤  
務スル者ヲ除キ各自ノ本店ニ歸任ヤシム

(二) 生命保險事業

中支ニ於ケル特殊ナル經濟事情ニ依ル經營ノ改善、機關ノ  
進展ト共ニ等々實施ニナル要領ノ確立、在支諸社ノ人員  
ノシ補正トスル聯合ノ限界性トシテシテ、現在一時ノ好況  
下ニアル生命事業ノ前途ニ必ラスシテ見テハ、  
(1) 共同事業所其の適當ナル方法ヲ以テスル合同ニ依ル經營  
體ノ合體化  
(2) 中國同新種保險(例ハ八富武生保險)ニ依ル新分野ノ開

四 生産工業資金ノ命令融資

陸軍省ニ緊要ナル生産工業資金ニ付テハ營業所所ニ於テ夙ニ現地  
生産現場ヲ密ニ監視シテ銀行等ニ對シ積極的融資ヲ勵ム  
ヲ要スル兵器、生産材料等ノ需要ハ果シテ左ノ所産資金ハ  
總的ニ増加ヤリ、是等資金ハ不急事業停止既費付金ノ同  
等ニ依リ一部運用ナルニ大半ハ新産出トシテ信用即チ



第三節 交通線關係

第一項 航運關係

一 重要物資運送現況

イ 長江筋

主トシテ中支航運會ニ依リ蘇錫石、石炭其ノ他重要物資ノ輸

送ヲ實施シツツアリ

ロ 沿海

青島、上海等ノ北支炭ノ輸送、上海ト香港、西貢方面トノ輸

送ヲ實施シツツアリ

ハ 内河

桂陽炭ノ淮河輸送及大運河ニ依ル北支炭ノ輸送ヲ實施シツツ

アリ 別表一及二参照

銀行融資ニ付リハ、ハルハカナル現狀ナリ然ルニレカ新機  
 資金ハ各地、物價ノ暴落ヲ反映シ加適度のニ増加シ銀行資金ヲ  
 適カニ融ユルト共ニ職等ニ依ル災害危険ヲ多分ニ含ムヲ以テ是  
 是等生産工業資金ハ融通カ通常的ナ融資方法ヲ以テ銀行等ニ期  
 待スルコトハ愈々困難ナル状態ニ在リ是ニ本年初メヨリ振興會  
 社ニ對スル緊急事業命令發シテ之ニ基キ新種金融ノ途ヲ開カシ  
 手續上、新規事業ニ對シ早急融資ヲ爲シ得サル儘アリテ職力増  
 補及生産身場ヲ阻害スルコト勤ムルモノアルニ儘ミ別ニ生産工  
 業融資金、ソノ緊急事業所費資金ニ付銀行等資金運用令第七條第  
 八條ニ對シ緊急融資金付テ之ニ基キ途ヲ開カシルコトハ設限ナル  
 融資金ナリト思料セラルヲ以テ之カ具容化ニ付所角考究中ナリ

物價抑制對策  
 物價問題ノ由來ノ遠ク其ノ原因ニ多元的ニシテ複雑テアリ且  
 同生のニ妙アルニ非ス物價ノ暴落シキ馬車抑制ノ爲ニナシ得ル  
 融ユル對策ヲ強力ニ推進セザルニハカラム未實行ニシテ緊急  
 融資ヲ要スル方面ノ對策ヲ急カシムルハ、如シ

(1) 日本例ノ強力支援ニ依ル國府ノ物價對策進行

- (2) 消費節約運動ノ展開ノ新國民運動ノ一トシテ取上ケルコト
  - (3) 企業設備優秀工場ハ、其中生産等ニ依ル長壽物價ノ増進
  - (4) 代用燃料ニ依ル發電氣力ノ工夫推進
  - (5) 申請商人ノ不意利尙存
  - (6) 物價安定公表ノ發行
- (7) 不法徵稅ヲ嚴禁
- (8) 經濟擾亂行為ノ嚴中取締(亂行爲)ニ對シテ電達ヲ適用



別表 一

中文ニ於ケル水陸輸送状況調査ノ重要項目ノ一 一九一〇年

品名	品類	七月		八月		九月	
		計	實	計	實	計	實
石炭	裕溪口/蕪湖	11300	3600	1000	1000	1000	3510
	滬口/大冶	4000	0	4000	0	4000	3510
	/蕪湖	7870	2370	8000	4315	9000	3365
	/馬鞍山	15000	4250	40000	15000	20000	15000
	/蕪江	2000	2000	2000	2000	2000	2000
	/江北各地	11000	1100	20000	3000	20000	0
	/天生港	2000	4000	4000	0	3000	4000
	/南京	26000	35000	26000	25000	26000	26000
	蕪湖/大冶	0	1500	20000	19500	0	2600
	下善/蚌埠	55000	128000	110000	115000	100000	115000
	青島/上海	67000	155000	150000	155000	100000	150000
	大連河	1	1	1	850	1	1500
	浦口/安慶	1	1	1	2000	1	1
	裕溪口/安慶	1	1	1=000	3000	1	1

2

品名	統	計		月		計		月	
		七	八	七	八	七	八	七	八
鐵鋼石	大港/無湖	5,500	6,100	5,100	3,500	5,500	3,300	5,100	3,300
	歌港/	3,000	0	3,000	0	3,000	0	3,000	1,000
	下三山/浦口	1	1	1,000	0	1,000	0	1,000	1,000
	無我山/上海	1	1	1,900	0	1,900	0	1,900	1,000
	鳳山/馬鞍山	1	1	2,500	0	2,500	0	2,500	1,500
	歐家坪/	1	1	1	1	1	1	1	1,500
	無港/內地	1	1	2,500	1	1,900	1	2,500	1,100
	浦口/內地	1	1	1	1	1	1	1	1
	馬鞍山/內地	1	1	1,300	1	1,000	1	1,300	0
	上海/內地	1	1	5,200	0	4,900	0	5,200	3,600
	馬鞍山/浦口	2,500	2,300	2,000	1,000	2,000	1,000	2,000	2,000
	無我山/馬鞍山	1	1	1	1	1	1	1	1,000
	上海/內地	4,500	4,200	4,500	0	4,500	0	4,500	3,000
	石浦/	4,500	4,200	4,500	0	4,500	0	4,500	3,000
	無湖/上海	1,500	1,100	1,000	0	1,000	0	1,000	1,000
	漢口/	1,000	1,000	1,000	0	1,000	0	1,000	1,000
	安慶/	1	1	1	1	1	1	1	1,500
	上海/內地	4,000	1,500	4,500	1	4,500	1	4,500	3,600
	上海/內地	20	1,500	2,200	1	2,200	1	2,200	1,500

3



品名	産地	計七		計八		計九	
		計	實	計	實	計	實
燕窩	無錫/上海	1800	500	2500	350	1	1
	南京	1	1	2	100	1	1
	上海/内地	12000	1200	13000	0	10000	0
雜穀	蘇州/上海	10000	1000	11000	1000	11000	300
	江北	11100	1100	12200	1000	13200	0
	南京	1	1	2	0	0	0
	安慶	1	1	2	0	0	0
	海鹽/鎮江	1	1	2	0	0	0
木材	内地/上海	1	1	2	0	0	0
	無錫	1	1	2	0	0	0
米	南京	1	1	2	0	0	0
	西貢	1	1	2	0	0	0
小麥	鎮江	1000	100	1100	1	1	1
	南京	1	1	2	0	0	0
	江北/鎮江	1	1	2	0	0	0
	台美/上海	1000	100	1100	100	1000	100
棉花	天津	1000	100	1100	100	1000	100
	青島	1000	100	1100	100	1000	100
	上海/内地	10000	1000	11000	0	10000	0

4

別表 白

北支炭産送状況 昭和一九二二

月別	隻数	計産輸送量	實輸送量
九月	一三	二三、七〇 吨	六、〇二 吨
一〇月	一一	二六、七〇〇	一四、五七八
十一月	一一	三六、六五〇	三一、九七四
十二月	七	二五、五五〇	

曰 我克輸送ニ關スル件  
 德助船艦トシテノ我克輸送ハ前年廣ニ實施セル試験、輸送ノ貴重ナル經驗ヲ蓄積トシテノ貿易船トシテノ我克本邦ノ性格ト當地區ノ異常ナル物價狀況ニ即應スヘク海運管轄ヲ加緊シ現地陸軍軍ノ灌漑的臨力ノ下ニ重要物資輸送ニ當ク活潑ナル期ヲ示シ居リ現狀別紙ノ通りナリ  
 信右ノ外海軍陸軍軍務目ノ立場ヨリ之方利用ヲ計リ居ルモノ相違多數ニ上リ居レリ  
 今般ノ所獲トシテハ從來我克ノ緊急大量ノ結集ヲ阻ル意途ノ下ニ或ル程度之ヲ結集運管檢點ノ點立ヘ之ヲ答認シ來リタルガ漸ク夜中輸送ノ軌道ニ乘リ來ルト共ニ之ヲ計畫化スル必要ヲ痛感セシメ下關係機關ト之方對策ニ對テ考究中ナリ

中文ニ於ケル我克輸送状況報告  
 昭和一九二二一年在

一、 滿洲六月以降

往 陸	三〇隻	一五一區噸	雜貨	一、三〇〇噸
往 海	一九隻	一三八區噸	石炭	一、一五五噸
往 陸	一〇隻	一〇八區噸	雜貨	一、一八六噸
往 海	一〇隻	一〇八區噸	雜貨	一、一八六噸

大豆粉並ニ土產紙  
 八船停泊積荷ノ爲船團ヨリ

二、 往來航行中ノモノ

往 陸	三隻	一五五區噸	雜貨	一、一八六噸
往 海	三隻	一五五區噸	雜貨	一、一八六噸

三、 臺灣回

往 陸	三隻	一五五區噸	雜貨	一、一八六噸
往 海	三隻	一五五區噸	雜貨	一、一八六噸

四、 臺灣回

往 陸	三隻	一五五區噸	雜貨	一、一八六噸
往 海	三隻	一五五區噸	雜貨	一、一八六噸

備考 重専用ノモノアルモ詳細不明



目録状況

物資流通ノ円滑化ヲ圖ルタメ本年五月十五日以降三十元以下ノ民船ニ對シ自由航行許可セラレタリ  
右ノ新募集ニ對シ中支ニ於ケル民船等ノ健全ナル接濟並ニ水上生活者ノ福利増進ヲ圖ランカ爲現在ノ華中内河民船公會ヲ再發  
討シ民船業ノ新ナル統制及運營形態ヲ研究シアリ

四 荷役状況

運送力増強上荷役ノ重要ナルニ鑑ミ荷役空裝ノ實施、荷役勤儉會社ノ關係等ニヨリ極力荷役力向上ニ努ムルト共ニ別途水陸荷役ノ根本的發達考究中ナリ  
最近ノ荷役空裝ハ漢口ニ於テ實施セラレソノ效果大イニ看ルヘキモノアリ  
荷役勤儉會社トシテハ蚌埠ニ於ケル淮南炭ノ水陸荷役ヲ原組華中運輸ノ二元的作業ナリシヲ原組ノ一貫作業ニ改メタリ  
司受託碼頭關係  
現在上海ニ於ケル受託碼頭ハ大和碼頭、日本郵船、八洲碼頭、

大阪碼頭、上海碼頭、東京碼頭、江東碼頭、上海三菱倉庫、京橋碼頭及亞細亞倉庫、上海倉庫、信託、開港、浦東碼頭、直營碼頭、炭灰、六碼頭ニシテ其ノ概況左記ノ如シ

一 收 容 力 二 四七、〇〇〇 吨

二 裝 船 力 八 百 屯 以 上 船 一 九 隻 九 一、〇〇〇 屯

三 自昭和十九年五月六ヶ月間

四 裝 卸 量 一 三 八 隻

五 倉 入 屯 數 八 九、三 六 六 屯

六 倉 出 屯 數 七 六、一 四 一、(噸ニ重箱品〇〇屯ヲ計上ス)

七 利 益 二、〇〇九、七〇二 圓

八 受託碼頭以來ノ利益總額 三、五六八、三二七 圓

九 水先ニ關スル件

7